

施策の進捗状況

KPI (重要業績評価指数)	測定方法	実績値	進捗率	実績値の検証
		目標値	方向性	
91. 財政調整基金繰入額(当初予算)	市当初予算額	19億円	△85.71%	財源を賄うため多額の基金を繰入れた。令和5年度当初予算:649.3億円(対経営健全化計画+10.3億円)一般財源361.1億円(対経営健全化計画△9.4億円)
		6億円	↓	
92. 市債発行額(当初予算)	市当初予算額	38億円	176.92%	予算要求前に普通建設事業費等の把握に努めたことから目標を達成することができた。令和5年度元金償還額60億8,835万8千円、市債発行額37億5,560万円。
		48億円	↓	
93. 財政調整基金残高(当初予算時点における当該年度末)	市当初予算額	58億円	22.58%	経営健全化計画に沿った予算編成により、財政調整基金を涵養することができた。令和5年度当初予算時点の令和5年度末現在高(見込み)58億1,748万7千円。
		34億円	↑	
94. 市税徴収率(現年度分)	市税の収納額/調定額(課税額)(N-1)	99.50%	194.12%	固定資産税及び軽自動車税の納付書に地方税統一QRコードを導入したことによる納付手段の拡大、自主納付のないケースへの徹底した財産調査、差押などの滞納処分の効果。
		99.34%	↑	
95. 官民連携による公共施設の活用等の実施件数(累計)	民間企業等と連携して公共施設の活用等に取り組んだ件数(N-1)	4件	133.33%	ネーミングライツ・パートナー制度及び民間提案制度により民間事業者と4件の契約を締結した。これにより新たな財源の確保や維持管理経費の削減が期待できる。
		3件	↑	

施策としての改善方針

持続可能な健全財政を確立するため、ふるさと納税寄付金・ネーミングライツ命名権料・関平鉱泉水使用料等による財源確保、市税等の公平公正な課税や徴収率の向上に努めることにより歳入確保を図りながら、「霧島市経営健全化計画(第4次)」のもと、歳出の最適化に努める。限られた人材を効率的に活用するため、柔軟な組織体制を構築するとともに、定年延長等を踏まえながら必要な人員を確保する。公有財産については、保有量の適正化を図るため、施設の統廃合・除却、未利用財産の売却による経費削減を図る。

施策幹事課	関係課
企画部企画政策課	市長公室秘書広報課 / 総務部総務課 / 総務部財政課 / 総務部財産管理課 / 総務部工事契約検査課 / 総務部税務課 / 総務部収納課 / 市民環境部環境衛生課 / 保健福祉部子育て支援課 / 保健福祉部健康増進課 / 商工観光部商工振興課 / 商工観光部商工観光施設課 / 建設部建設政策課 / 建設部建築住宅課 / 教育部教育総務課 / 選挙管理委員会事務局 / 監査委員事務局